



## 認定NPO法人市民オンブズマンおかやま

編集・発行 光成卓明 事務所 〒700-0933 岡山市北区奥田1-11-20

E-mail : info@ombud-oka.com ホームページ : <http://www.ombud-oka.com>

### 岡山県議会 平成21年度政務活動費事件判決

光成卓明

令和5年5月31日、岡山地裁で、岡山県議会平成21年度政務活動費事件の判決がありました。岡山県議会についての2つ目の判決です。＜34人の議員に対して総額2312万3352円を支払うよう請求せよ＞という、オンブズマン勝訴の判決です。

判決が違法と認めた支出は、「1万円超」分1408万9326円（オンブズマンの請求額は5153万1143円）、「1万円以下」分（領収書が公表されていなかったもの）903万4026円（オンブズマンの請求額は1307万7254円）です。

政党別には、

自民党 33人中25人に対し、1986万4036円（請求額5459万7551円）

民進党 7人中4人に対し、130万3152円（請求額509万3570円）

公明党 4人中3人に対し、14万7259円（請求額101万2107円）

共産党 3人中1人に対し、10万1345円（請求額203万7545円）

無所属 1人中1人に対し、170万7560円（請求額186万7624円）でした。

判決の特徴は、①按分支出は徹底し、②飲食会合費・「花代」（金一封）・「自分の会社への支出」はかなりきびしく判断、③会派会費、議会内控室経費については請求を認めず、④広報費については甘い、といったところです。

昨年判決のあった22年度分事件とほぼ同内容の判決（同じ裁判官ですから、当然と言えば当然）ですが、懇親会会費などについてやや辛くなり、議員経営の会社への支払についてやや甘くなっているように見受けられます。

22年度事件と同様、がんばった甲斐はあったのですが、<もうちょっと踏み込んでもらいたかった>。特に、これも22年度事件と同様、自民党会派の会費が実質的に自民党県連に還流していることを違法としなかったことは、とても不満です。

県もオンブズマンも控訴しました。舞台は高裁に移ります。これで、高裁には22年度事件と21年度事件の2件がかかりますことになります。

## 2 進行中の裁判

### i 岡山県議会訴訟

平成23～28年度分の事件6件が岡山地裁で審理中です。このうち23年度事件は、来年前半には審理終結して判決になりそうです。

岡山県議会の政務活動費は、オンブズマンが裁判を始めても支出実態がほとんど変わっていないので、どの年度も、21・22年度事件並の勝訴判決は期待できるでしょう。

### ii 愛媛県議会訴訟

愛媛県から参加されている井川さんが原告として、平成29～令和元年度の3件の政務活動費裁判が松山地裁で続行中ですが、このほど、29年度事件（四国中央市選出の3人の議員に対して743万8839円請求）の審理が集結し、来年3月に判決が言い渡されます。愛媛県議会の議員さんたちは岡山県議会よりさらに<お行儀が悪く>、飲み会代やらをはじめとして、無法な支出がはびこっているのです。結果が非常に楽しみです。

以上、あいかわらず「政務活動費（漬け）の日々」ですが、なにしろ、これくらい支出が乱脈な…ということは「やればたいがい勝つ」…分野もそうありませんし。

今後も、裁判の行方（とりわけ県議会）にご注目ください。

## <令和5年全国大会のご報告>

光成卓明

令和5年の全国オンブズマン大会が、9月23～24日の2日間にわたって、仙台市で行われました。昨年に続き、現地とリモートの併用です。岡山からは、私が現地参加で、ほかの方々はリモート参加です。…なにしろ、仙台ですし。『ミチノク』の語源は『道の奥』なんだよねー。）

私は分科会（政務活動費）の仕切りをしなければならなかったため、現地参加しましたが、さすがに新幹線片道5時間超はこたえます（よる年波とかありますし）。

政務活動費分科会については、最近ややマンネリ気味で、ひところのような盛り上がりがないです。最大の原因は（たぶん）、集計や分析がけっこう大変で（裁判となるとけっこう以上に大変で）、誰でもどこでもというわけにいかないため、取り組んでいるオンブズマンが少ないからです。全国の拡大幹事会でそう言ってこぼしたら、今年名古屋の新海さんが助っ人に入ってくれました。新海さんのコンセプトは、「裁判ではなく、全国的な運動で改善させる方向を追求しよう」で、分科会もくじゃあ、それ、どうやればできるのか>が中心になりました。

…でも、運動でって、けっこう大変そう。特に、岡山のみならず、香川や愛媛のようなさらにタチの悪い（そう、上には上があるのですよ）議会を目にしていますとね。あの方たち、裁判で負かされる以外で悔い改めることがあるのかしら…

追記：仙台で「牛タン」を買って帰りましたが、ついでに買った＜牛タンの端っこ＞（大幅に割安。現地でしか売ってなさそう）のほうが、＜噛み応えがあって、食べた気になれる＞という理由で、我が家ではウケました。皆さんも、機会があれば、ぜひどうぞ。

みなさん、この山陽新聞の社説は読まれたでしょうか。全国大会で最下位となった岡山県議会の情報公開度について述べてあります。

### 岡山県議の政活費

## 透明度高め活動の発信を

都道府県議会の中で、最も活動が見えづらいと言われても仕方あるまい。住民目線に立った改革が求められる。

地方議会で議員報酬とは別に公費から支給される政務活動費(政活費)に関して、全国市民オンブズマン連絡会議が2023年度の情報公開度ランキングをまとめた。岡山県議会は都道府県別で4年連続の最下位となり、ワーストから抜け出せないでいる。

調査は、政活費の情報に住民がどれだけアクセスしやすいかを評価している。領収書▽会計帳簿▽活動報告書▽視察報告書▽使途基準を定めたマニュアルを対象に、インターネットで公開しているかなど12項目の基準を設け、100点満点で採点した。

1人月額35万円が支給されている岡山県議会(定数86)は、領収書をネットで公開していないなど9項目が「0点」で計10点だった。同時に調査した政令指定都市と中核市を含む全129議会の中でも得点が最も低く、最低点となるのも4年連続となる。

要因はネット公開の遅れだ。岡山県議会は調査研究費や事務所費など経費の区分ご

とに支出総額を記した収支報告書に限って19年度支給分からネット公開を始めたものの、それ以外の動きがない。ネットなら住民が資料を閲覧するために議会に向く手間

### 社説

が省け、確認しやすくなる。早急に公開対象を広げる議論を進めるべきだ。

オンブズマンの調査で先進地との差は歴然としている。合計が97点で都道府県議会の

トップに並んだ兵庫と奈良

は、領収書の個人名の一部を除いて調査対象の資料を全てネット公開している。目を引くのは、そのボリュームだ。

1人月額45万円の兵庫県議会(定数86)は、ネットでの公開資料が計約3万3千枚に上る。定数の違いがあるにせよ、紙で閲覧する岡山県議会の約7500枚と比べて桁違いに多い。1人で800枚を

超える議員もあり、中身を見ると「ライフワークは『介護・子育て・医療』と政策を書き込んだリーフレットや、視覚障害者の支援を国に陳情した際の資料といった報告書を詳しく載せ、活動ぶりがよく

伝わっている。

政活費を巡り、岡山県議会は全支出の領収書公開が都道府県議会でも最も遅かった。公開が実現したとはいえネットでは見られず、議会で閲覧してもガソリンスタンドのレジ

ートなどが多いため、県政にどう役立っているのか十分に把握できないのが実態だ。

「地方議員は何をやっているか分からない」との指摘は少なくない。先進例を参考に、政活費の報告書を充実させてネットに公開すれば住民へのアピール材料になろう。岡山

県議会には、議員活動の発信という観点からも政活費の透明度を高めてもらいたい。





## 積読(ツドク)家の自負

能瀬英太郎

私は十数年前まで牛乳の宅配を生業としていたので、月末になると配達した牛乳代を集金して回るのが忙しかった。集めた金をメーカーに支払えば手許に残るのは僅かで、僅かな収入で一家4人が質素な生活をした。「牛乳屋ほど割にあわない商売はない」と人にはグチをこぼしたが、50数年間も続けてきたのだから、それはそれなりにいい面もあった。いい面とは自由になる豊富な時間だった。

配達はやさしいが集金は難しい、何が難しいかといえば、家の人に会えなければ、お金が貰えないからだ。「朝早くから起きての配達はさぞ大変でしょう」とねぎらってくれる人もあるが、それがそうでもない。毎朝3時過ぎに起きて軽自動車に牛乳を積み込み、順序よくお得意先へ配って回る。月水金組と火木土組とに地域割をして2日分ずつ配達して、日曜日を休日とした。これを機械的に繰り返すが、天候によっては難儀なこともある。雨や雪が降っても、台風がきても休んだことはない。ただ体を動かさないケガをした時には仕方なく休んだ。アキレス腱切断では休んだが風邪は押して配った。

お得意先にはいろいろな人がいて、私が古本屋通いをする動機となったのは、そのお得意さんの影響が大きい。その人

をKさんとしておこう。Kさんは同じ町内に住む晴耕雨読の農家だ。集金に行くと「待ってました」とばかり「まー、お掛けなさいよ」と引留め「おーい、牛乳代の集金だぞ！」と奥さんに声をかける。夫人が出て来て「宇治の新茶が入っとんよ、ちょっと飲んでお行きなさいよ」と愛想よく接してくれる。時には、宇治が狭山になるが名茶の産地をここで覚えた。Kさんは根っからの甘党で、高価な和菓子も出る。歓待される理由はKさんの話をじっくり聞いてあげるからだ。

K家に行く時には、引留められることを覚悟して集金の最後に行くことにしている。上がりガマチへ座布団が出されて腰を下ろすと、手近な本棚から数冊の古本を出してくる。見せてくれるのは、私も国語教科書で習った歌人とか詩人の初版本であった。「古本だけは、贋作ができません、その上に読むこともできます」と好事家に転売して利益を得る一挙両得を強調する。昔風な古本屋には最近出版されたものは少ない。Kさんがいうように「古書といわれるようになるのは、せいぜい30年以上生きながらえなくてはなりません」そのあいだに価値のない本はどんどん紙クズになるという。

Kさんは親から引き継いだ農地を持ち小規模ながら農業をやっている。広い屋敷内に中くらいの納屋が3棟建っていて、収納されているのは農具ではなくほとんどが古本なのだ。一度みせてもらったが、リング箱を横にして4段に重ねて本箱にして

いる。「何冊くらいは持っているのですか」と聞くと、「数えたことはありませんが、まー2万冊ほどはありますな」と軽く答えた。この人淡々とこたえるのでオオボラとも思えないのだ。岡山市に郊外型の新「古本屋」が進出してきたのは、その頃からだったと記憶している。Kさんが行くのは旧「古本屋」だが、私が行くようになったのは「新」のほうだ。

古色蒼然としてくすんだ印象がある書棚の奥で、店番をしているのは老眼鏡を掛けた主人で代金を払うとニコリともせず、古新聞でつくった袋へ入れてくれる店が「旧」。レジで支払いをするとビニール袋にいれて、コンビニ店員と似たような高音で「アリガトゴザイマス」とやるのが「新」である。

私はお得意さんが帰宅する時間待ちのための暇つぶしを「新」のほうでやる。喫茶店へ行くのも一方法だが、コーヒーを飲んで新聞を読みテレビをみながら「もう帰ったかな？」と待つにも400円のコーヒー代が必要だ。古本屋で百円均一の本を4冊買うと400円、同じ金額の価値判断をして後の方を選んだ。数軒の店で月に何回か暇つぶしをやっていると、書棚に並ぶ本の名前と値段を大方覚えた。その中の一冊が売れて無くなると「おや」と思う。べつにそれが買いたかったわけではなく、風景が変わったように思えるだけだ。

留守が多く集金がはかどらないと、本が増えることになる。古本買いの上限を1回400円と決めているので、集金帰りには

大抵4冊かかえて帰る。ひと月に10日間ほど集金にかかるので、毎月40冊ずつ本が増えて行く。単純計算すると1年に約500冊、10年で5000冊ずつ増えるので、Kさんに追いつくのも時間の問題だ。

配達地域にあるゴミ集積場では、1年のうち或る時期になると束ねた本が捨てられる。それは3月末から4月上旬に集中している。卒業が近くなると大学生は、いらぬものを整理するようだがその中で一番多いのが本である。中でも重くて厄介なのは辞書類で使えば一生物なのに、本と一緒に紐でくくってゴミに出すので拾う。

私にはKさんのような才覚が無いので、本が家から出て行く機会が無い。その上貸せば返してもらうまで気に掛る。たまたま岡山大学医学部T教授に貸した本が出て行ったきりであることに気がついて、研究室へ貰いに行った。すると同じ研究室のY教授がアメリカ留学へ携行していると返事だった。2022年夏Y教授が帰国したのを知り、貸した『岡山縣に於ける粉乳砒素中毒症発生記録』の返還を求めた。T教授から間なしに返送されたので、持っていた「借用書」を折り返し郵送した。借用書の日付けを見ると貸したのは18年も前のことだった。直接利用したY教授からの連絡は一切ない。